

6月定例会—知事提案

乳幼児医療費窓口無料化

—実現にむけて取組みを進める

本日開会した県議会の提案説明のなかで、知事は「先の2月県議会でも申し上げましたように、乳幼児医療費の窓口無料化の実現に向けたビジョンをお示ししてまいりたいと考えております。」と述べ、実現に向けて意欲をしめしました。

また、県下の市町村議会でも、中野市や三水村などで新日本婦人の会が提出した「乳幼児医療費の現物給付（窓口無料化）実施を求める陳情書」が採択されました。

引き続き、県と市町村が協力して実現できるようがんばります。

6月補正予算案の特徴

6月補正予算案は、約6億円の提案。(5億9,992万9千円)

おもなものは、県民の要望を共産党が取り上げた、児童相談所に一時保護される児童生徒のための教員派遣。

また、2月県議会で減額修正されたうち「信州型木製ガードレール」、「スキー王国NAGANO」などの再提案などです。

県財政の健全化のため、財政改革推進プログラムの着実な実行の中で、全国唯一、4年連続（'01～'04）県債残高を減少させる見込みになりました。

この提案に対し石坂県議団長は、「財政の一層の健全化への決意、乳幼児医療費窓口無料など県民要望に前向きに応えるもので歓迎します。県民と共産党が願ってきた、児童相談所への教員配置も提案され嬉しく思います。」とコメント。

県議団の一般質問は

6月30日（木）午前10時 びぜん光正県議

7月4日（月）午前10時 石坂 ちほ県議